

レジャーダイビング認定カード普及協議会
(Cカード協議会)

2012年11月定例会議議事録

◎ 開催期日：2012年11月15日（木） 午後16時00分より

◎ 開催場所：(株)PADI JAPAN

◎ 出席者（アルファベット順：敬称略）

☆BSAC JAPAN	株式会社BSAC	細川	俊一
☆DACS	セントラルスポーツ株式会社	三枝	佳紀
☆KD JAPAN	関西潜水連盟	松村	卓也
☆JP	JPインターナショナル	平川	大輔
☆JUDF	全日本潜水連盟	吉村	忍
☆PADI	株式会社パディジャパン	宗田	康宏
☆SSI	株式会社SSIジャパン	栗山	禎尚
☆STRAS	水中活動研究所有限公司	岡本	康男
☆オブザーバー	静岡県ダイバーズ協議会 株式会社 エスアイドゥ	渡辺 市原	守 隆久

1. 進行／記録：事務局 宗田

2. 定例会議事

① JAPANドラッグストアショー主催者イベント企画について

- 第13回JAPANドラッグストアショーについて推進事務局今江 良太郎様より企画提案があった。
- 提案内容
 - 2013年3月15日～17日に開催予定の第13回JAPANドラッグストアショーにて、シニア層に向けたダイビングレジャーの提案をC協として行なって欲しい
 - 出展費用は、パネル代他実費のみ
 - 出展スペース、2コマ
- 協議の結果出展することを決定。
- 出展案に付いては、事務局が提案することになった。

② ダイバー自身の安全対策セミナーについて

- 事務局より集客状況の報告があった。
 - 予約97名に対し、実績74名の参加があり、土壇場のキャンセルの発生が多く、その反面申し込み期限後の申し込みを断った経緯もあり、次回は予約受付の方法に工夫が必要との意見があった。
- 事務局よりアンケート結果の報告があった。
 - アンケートの評価点から、参加者の7割～8割は3点以上の評価をしており、概ね高評であった。
 - 今後も継続的に同セミナーを実施していくことで、出席者の意見が一致した。

③ 静岡県水難事故防止対策協議会報告の件

- 静岡県ダイバーズ協議会渡辺氏より報告
 - 静岡県水難事故防止対策協議会にて、静岡県の水難事故（ダイビングも含め）が多いため、ダイビング業界として今後の対策を具体的に検討することが急務であることが話し合われた。

- 静岡県救難課、県警、保安庁等から、このまま事故多発が継続するようでは、条例等の規制対象として検討せざるを得ないとの見解があったとのこと。
 - C協として、今後も安全セミナー等を積極的に展開し、現場の安全意識を高め事故防止に繋げる努力をしていくことが決められた。
- ④ C協採択規準のすり合わせについて
- 9月定例会の継続案件として、PADI、SSIのトレーニング規準が、RSTC基準との乖離が無いかのすり合わせが行なわれた。
 - その結果、PADI、SSIの基準にRSTCとの乖離が無いことが確認された。
 - DACSでは、水深1mのプールでのスキル開発では、人数比をINST1名に対し、参加者20名としているが、これは環境に合わせた応用で、RSTC基準を超えても、許容範囲と捉えるべきではないかとの意見があった。
- ⑤ その他
- 安全宣言カード増刷の件（参考@9.7円）
 - 増刷を希望する会員は、11月21日までに希望冊数をメールで知らせることになった。
 - ロゴマークの修正を希望するものは、同21日までに事務局に版を送ることになった。
 - 忘年会の件
 - 昨年の忘年会の様子から、連合会との合同忘年会だとC協会員同士の情報交換がしにくいので、C協単独の忘年会を12月13日に行なうことになった。

以上